

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 毎月最終例会 18:00
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 和田正敏
 幹事 田部井良和
 会報・雑誌委員長 宮尾紘司

No.17

ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続

ROTARY 2000：ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

1999～2000年度 RI会長 カルロ・ラビッツァ

きょうの例会

第828回 平成11年11月16日(火)

講演 名古屋市のごみに挑む
 中部リサイクル運動市民の会
 代表 萩原 喜之氏
 (紹介 大口君)

毎月最終例会は夜間(友愛の日)
 11月30日(火) 18:00～19:00

先週の記録

第827回 平成11年11月9日(火) 晴

◆“我等の生業”

◆出席報告

会員	70 (67) 名	出席	48名
出席率	71.64%		
前々回	10月26日	(修正出席率)	98.51%

◆ゲスト紹介

名古屋市環境保全局 環境管理室長 矢野 秀則氏

◆ニコボックス (11/2分、11/9分) は紙面の都合上、次回掲載と致します。

◆山本眞輔君 内閣総理大臣賞 受賞



第31回日展で、出品作の彫刻「森からの声」が内閣総理大臣賞を受賞いたしました。11月2日は小淵総理ご出席のパーティーが、また昨日は天皇皇后両陛下にお越し頂きお言葉をかけて頂き、大変感激致しました。最高賞におごれることなく、これからも自分の仕事をキチンとしていきたいと思っておりますので今まで同様よろしくご指導をお願い致します。又名古屋にも日展が参りました折には、是非作品をご覧頂きたく思います。

※和田会長より山本眞輔君にお祝いの花束が贈られました。

西野ロータリー財団委員長よりお願い

先週お配りした財団寄付のお願いですが、財団の事業にご理解を頂きまして、お一人100ドル以上からのご協力をお願い致します。

三好親睦活動委員長より報告

今週、年末会員・家族懇親会のご案内をさせていただきますが、今年度は手作りを主に考え、皆様より歌をお願いする事に致しましたので、ご応募頂きますようお願い申し上げます。

田部井幹事報告

1. 今日お手元にあります年次総会のご案内ですが、12月の第1例会日に行いますのでご出席の程よろしく申し上げます。

和田会長挨拶

今日は午後から、労働安全衛生行政についての講演会が開かれ、私は健康診断の実施と事後措置についての講演を依頼されています。行政の目的は、労働安全衛生法に基づき定期健康診断が完全実施をされるように労働基準監督署が事業所に対して指導するためのものです。対象者は労働者数50名以上の事業所で安全衛生管理体制が不備な事業所と労働者数30名以上50名未満の事業所で健康診断を実施していない事業所です。

地域や職場では、さまざまな健康診断が行われ検査項目も多種多様になり、また健康診断後の生活指導も充実してきています。これを上手に利用しない手はありません。多忙なか、せつかく健康診断を受けたのですから、その結果を積極的に生活改善に結び付けていきましょう。

先日、夜の外来の最後にかかりつけの患者様が発熱で飛び込んでみえました。この患者様は会社の社長でおいばりの口の悪い方ですがその日に限りえらく丁寧に話をされました。毎年、その方の会社の従業員は社長の肝いりで私の病院で健康診断を行っており、毎回、要再検査と指示されている30歳後半の人がみえます。社長様から再三注意をしていただいても、その人

は「健康診断なんか何回やっても、ちっとも変わらないし、医者もあてにならない。こんなに元気だから」と医者をばかにしていたそうです。ところが、「あのやろうが、先月、突然、腹痛で近くの病院へ運ばれ、肝臓に腫瘍が出来て、糖尿病もあるから手術も出来ない状態だ。あのばちあたりが、人の言う事を聞かないばかりに大変な事になったもんだ」と社長様は話され、「おれは仕事や政治の事では人の先にたってけんかもするし、人の言う事も聞かないが、体のことは自分では分からないから医者にかかせてある。先生はやぶ医者だけど俺は先生を信じているからな！俺を病気で殺すなよ！」と言って帰られました。皆様も体のことは自分で守ってください。病気になったら、家族も会社もお手あげです。できれば、定期的に年2回は体全体の検査を受けてください。従業員の方々の健康状態、精神状態も目を光らせてください。会社にとってスタッフは宝です。

◆講演

名古屋市環境基本計画

——人・まち・自然の調和——

名古屋市環境保全局

環境管理室長 矢野 秀則氏

(紹介 大川君)



21世紀を間近に控えた現在、社会経済全体が大きな転換期を迎えています。名古屋市においても同様にその渦中にあり、例えば、少子高齢化が加速度的に進展する中で、高齢者福祉はどうあるべきか、子供たちを育てやすい社会にするにはどうすべきか等々、様々な解決困難な課題に直面しています。

環境問題もその例外ではありません。現在の環境問題は、過去の公害問題等に代表されるように原因者と被害者とが明確に区別されるものではなく、例えばごみ処理の増大や自動車排気ガスによる大気汚染の例で示されるように、加害者も被害者ともに私たち市民であると言った構図に変わってきています。

とりわけ、最近の地球環境問題や有害化学物質問題においては、その影響が地球全体といった空間的拡がりを持つと同時に私たちの将来にまで及ぶ時間的な拡がりも併せ持っています。しかもその状況をなかなか私たちの身の回りで実感できないことに特徴があるのですが、一方で最近の環境問題の状況を映画のタイトルに擬えて、「今そこにある危機」と指摘する学者もいるほどです。

このような中、本年八月に、2010年度を目標年度として、本市の環境保全に関する総合的な施策の大綱を

示す「名古屋市環境基本計画」——“人・まち・自然の調和”——を策定いたしました。

計画の総合目標は、「環境都市なごやの実現」ですが、これは、①環境への負荷の少ない循環都市～省エネルギーやごみの減量・リサイクルを推進することによって環境への負荷を低減し、循環都市の形成をめざす。②公害のない快適環境都市～大気、水等の環境の保全や有害化学物質対策に取り組むことにより、公害のない快適環境都市をめざす。③自然と共生する都市～自然との触れ合い空間や多様な生態系の保全と整備、緑化の推進に努めることにより、うるおいとゆとりのある都市の形成をめざす。④地球環境保全に貢献する都市～地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の環境問題に関する取組みを積極的に進める。といった個別目標を実現していくことによって可能となる理想の都市像、即ち人・まち・自然が調和した、持続的な発展が可能な都市をめざすものと考えます。

この計画においては、これらの目標を達成するため、212項目の多岐にわたる施策とこれらを誘導していくための19のリーディングプロジェクトを掲げておりますが、何よりも重要なことは、この個別目標の最後にありますように、全ての市民、事業者の皆様や行政が環境問題を一人ひとりの身近な問題として捉え、連携しつつそれぞれの役割を果たしていくことによって市民がつくる環境都市を形成していくことにあると思います。皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いする次第です。

お知らせ

ロータリーの友11月号の16ページ、ロータリー俳壇に、会員久野峯一君の奥様の俳句が掲載されております。

例会変更のお知らせ

名古屋守山RC	11/18(木) IDMの為 ラ・メゾン・ブランシュ 覚王山 店にて
名古屋名北RC	11/24(木) 錦RC 合同夜間例会 及び、IDMの為
名古屋錦RC	11/30(火) 名北RC 合同IDMの為 11/24(木) 不二パークホテルにて
豊山一城北RC	11/30(火) 夜間例会の為 18:30～

◆11月度理事役員会議議題 (11/2)

1. 年末謝礼の件
2. 2000～2001年度理事役員の内
3. 長期欠席願いの件

◆次回例会 (11月30日)

友愛の日
北垣 紀子さんによるバイオリン演奏
(紹介 水野(宏)君)